

ICT支援機器の導入を進めるための「強み・弱み」チェック表

対象者氏名					記入者			記入日	
対象	分類	チェック項目	全く問題ない	概ね問題ない	アドバイスが必要	定期的なアドバイスや支援が必要	一定期間の支援が必要		
本人	意欲	本人が支援機器利用に対する具体的な必要性を感じていて、やりたい(やってみよう・試してみたい)という意思を明確に持っている							
	注意点の理解	機器操作能力(リテラシー)をある程度持っている、もしくは、練習を行えるような意欲と環境(時間、機器)がある							
		学習スタイルが変わることによる学習効果や生活の変化(学習時間の増減とそれに伴う様々な変化)を意識できている、もしくは、意識できる可能性がある							
		ICT機器の利用ルールの順守を期待できる							
家庭	意欲	支援機器利用に対する具体的な必要性を感じていて、やらせたい(試させてみたい)という意思を明確に持っている							
	注意点の理解	ICT支援機器の利用に対する過大な万能感を持っていない							
		学習スタイルが変わることによる学習効果や生活の変化(学習時間の増減とそれに伴う様々な変化)を意識できている							
		ICT機器の利用ルールを定めたり、環境づくりを積極的に行おうとしたりする姿勢を期待できる							
	経費や制度の利用	ICT機器購入の費用負担が過大にならない 就学奨励費制度などに対して積極的な手続き等を期待できる							
サポート人材	最低限の操作や環境づくり(特にバックアップ作業)をサポートできる								
学校	導入準備	支援機器導入によって一定の学習効果を得られる可能性を感じている							
		本人、保護者の意向を考慮することを前提とし、個人ではなく、学部や学年団でICT支援機器の具体的な利用場面や、その効果の可能性を検討できている							
		個別の指導計画もしくは教育支援計画に利用が明記もしくは検討されている							
	環境整備	ICT機器支援機器導入による環境整備(教室環境等の整備、教科書や資料・ワークシート等の電子化、機器のセッティングや補助等)について授業者の負担は過大にならない							
		他の児童生徒に対する影響は過大にはならない							
サポート人材	ICT機器支援機器導入に関してサポートを行える人材が学年団もしくは学部内にいる サポートを行える教員等の負担は過大にはならない								